

構造・合成・ 生物活性の先にあるもの

天然物化学研究領域

第3回
シンポジウム

参加費
無料

※但し、ミキサーは有料(5,000円)

創立100周年事業「Visionary農芸化学100シンポジウム」は、全12回開催後、農芸化学分野の活動や研究内容の紹介の場である農芸化学「化学と生物」シンポジウムにその趣旨を引き継ぐことになりました。移行期である2022年度、2023年度は、Visionary農芸化学100シンポジウムに農芸化学「化学と生物」シンポジウムと並記いたします。

2023
7/29 土
13:00
|
17:30

主催 公益社団法人日本農芸化学会
開催方法 対面とweb配信によるハイブリッド開催
場所 東北大学農学部・青葉山コモンズ2階大講義室
定員 現地参加:250名 オンライン参加:制限なし

13:00 | 開会挨拶/西山真(日本農芸化学会会長)
13:05 | 領域紹介/清田洋正(岡山大学大学院環境生命自然科学研究科・教授)
13:15-13:45 | 座長/上田実(東北大学大学院理学研究科・教授)
植物時計ケムバイオと標的タンパク質決定の新提案
山口潤一郎(早稲田大学理工学術院・教授)
13:45-14:15 | 天然物創薬を加速する構造最適化プロセスの開発
市川聡(北海道大学大学院薬学研究院・教授)
14:15-14:45 | AIで広がる分子設計の可能性
大上雅史(東京工業大学情報理工学院・テニュアトラック助教)

休憩

15:00-15:30 | 座長/浅井禎吾(東北大学大学院薬学研究科・教授)
合成とものとりが拓く天然物ケミカルバイオロジー
荒井緑(慶應義塾大学理工学部・教授)
15:30-16:00 | 天然物生合成反応の集積から、予知・創出へ
葛山智久(東京大学大学院農学生命科学研究科・教授)

休憩

16:10-16:40 | 座長/山下まり(東北大学大学院農学研究科・教授)
天然PKCリガンドとともに40年 - 医薬品シーズを志向した構造単純化
入江一浩(京都大学農学研究科・教授)
16:40-17:10 | 生物活性天然物の作用標的としての脂質膜
村田道雄(大阪大学大学院理学研究科・教授)
17:10 | 閉会挨拶/阪井康能(日本農芸化学会副会長)
17:30 | ミキサー

参加申込

参加申込フォーム

- オンライン参加 https://cloud.dynacom.co.jp/form/g/jsbbaoffice/f_68/index.php
- 現地参加 <https://cloud.dynacom.co.jp/form/g/jsbbaoffice/Hyx2Ny8spq/index.php>

上記URLからお申込みください。お申し込みは【7月25日(火) 20:00まで】となります。

現地参加の定員は250名(先着順)となります。

定員を超えた場合は、オンライン参加で登録していただくようお願いいたします。



お問い合わせ先



公益社団法人 日本農芸化学会

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内
E-mail:kouen@jsbba.or.jp

ミキサー会場

東北大学農学部内(講演会場の階下)、「みどり食堂」
<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/aobayama/area.html>
(建物J-41)